



株式会社ワシダ120周年記念誌

株式会社ワシダ

120周年記念誌 (78ページ), マーク作成

制作期間: 2024.04 - 2025.04

担当領域: グラフィックデザイン

制作ツール: Illustrator, Photoshop

制作体制: デザイナー 2名

職務内容について

110周年時の社史が持つ強いイメージを一新し、今回はより柔らかく親しみやすい雰囲気を求めるご要望がありました。このご要望に応えるため、記念誌全体にマンガや週刊誌風のレイアウト、そして工夫を凝らした配色を取り入れました。これにより、読者が気軽に手に取り、楽しく読み進められるデザインを実現し、株式会社ワシダ様の歴史と未来を伝えるにふさわしい、温かく魅力的な記念誌を完成させることができました。



株式会社ワシダ120周年記念誌





株式会社ワシダ
120周年記念誌

社長ごあいさつ	P3
---------	----

祝 辞	P4 - P7
-----	---------

ワシダの歴史 (ワシダ百二十年物語)	P9 - P29
--------------------	----------

資料編	P31 - P53
-----	-----------

● ワシダの歴史	…… P32 - P39
● 会社案内の歴史	…… P42 - P43
● そのほかの資料	…… P44
● 野球部イーグルス	…… P45
● ワシダ写真集	…… P46 - P53

店舗紹介	P55 - P69
------	-----------

会社概要	P71 - P73
------	-----------

● TOPICS 1 本社移転のお話	P30
● TOPICS 2 ロゴマーク誕生秘話	P40 - P41
● TOPICS 3 なぜ鷺田さんじゃないのですか?	P54
● TOPICS 4 120周年 記念品紹介	P70
● TOPICS 5 若手社員の座談会	P74 - P76

編集後記	P78
------	-----

創業120周年記念誌発刊にあたり



株式会社ワシダ
代表取締役社長

岡橋 正之

1905年(明治38年)、北九州市門司で創業し、おかげさまで120周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、ワシダグループをご愛顧いただいているお客様やご利用者様をはじめ、石油及び各業種のお取引様、金融機関様、地域の皆様など関係各位のご支援、ご協力の賜物であります。また会社繁栄の基礎を築かれた歴代役員をはじめとする諸先輩方をはじめ、現役社員の絶え間ない努力、そして社員を支えていただいたご家族の皆様に深く感謝申し上げます。

社名の由来は新潟にあります。新潟の新津油田で石油開発に成功し、小口油田発展の先駆者となった鷺田種徳氏からの依頼で、当初は鷺田製油所門司支店として開所致しました。2年後に鷺田製油所は日本石油に買収されましたが、鷺田の名前を残したのが

始まりです。その後、九州北部を中心に取引を拡大し、地元の官営八幡製鉄所への石油納入にも成功し、全国展開への足場を築きました。

当社は創業以来一貫して、地域へのエネルギー流通の担い手として、暮らしに欠くことのできない石油製品の販売に尽力しました。明治、大正、昭和、平成、令和の5つの時代を経験し、戦争も乗り越えてきましたが、石油を取り巻く環境は大きく変わって参りました。人口減、少子高齢化、車両の燃費向上や電動化、カーボンニュートラルなどで、1994年に6万ヶ所以上あったガソリンスタンドは、この30年で半数以下となつています。

このような情勢を踏まえ、十数年前から事業構造の改革及び事業の多角化に取り組んで参りました。「石油の第二創業から多角化の第一創業」と舵を切り、「総合生活支援サービス企業」を目指して事業を推進しました。2011年に来店型保険ショップである「ほけんの窓口」を展開し、現在は北九州地区に3店舗、福岡地区に3店舗を

開設しております。また、2013年には便利屋事業に進出し、「ベンリーワシダ戸畑店」を北九州市に開所させました。そして2017年には訪問看護事業に参入し、福岡市に「まんぶく訪問看護リハビリステーション」を開設しています。

なお、石油需要は減少しておりますが、これからも長く続く事業であるため、多角化だけでなく車関連事業の強化も同時に推進しています。この20年で福岡県と千葉県にて車売買事業、中古車レンタカー事業、リペア(小傷補修)事業、カーコンビニ倶楽部加入、整備工場の買収及び進出を行っています。

今後も「お客様により快適で安心安全なトータルライフの提案と支援」の輪を広げ、社会や地域の皆様に必要とされる企業を目指すとともに、さらにちよつと楽しくて面白い、夢のある良い会社になりたいと思つております。

今後とも「層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、創業120周年記念誌発行のご挨拶とさせていただきます。

株式会社ワシダ様

創業120周年記念にあたって



ENEOS株式会社
代表取締役社長

山口 敦治

このたびは創業120周年を迎えられましたこと、誠にありがとうございます。

まずは、ワシダ様が今日に至るまで北九州におけるエネルギーの安定供給を担ってこられましたことに心より敬服いたします。

また、長年に亘り会社の発展を支えてこられた歴代の社長・社員の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表します。

ワシダ様と弊社のお付き合いは、大正7年に八幡製鐵所へ納入する燃料油・潤滑油を弊社の前身の一つである宝田石油が承ったことに端を発し、以来100年以上に亘りお取引をいただいております。あらためてその厚誼に対し深く御礼を申し上げます。

このように幾世代に亘り事業を継続されてこられましたのは、ワシダ様が時代の変化を機敏に捉え、常に挑戦を重ねられて

きたことによるものです。

戦前には初代の岡橋角之助社長がいち早く石油時代の到来を予見され、本格的に石油事業の展開を手掛けられたことで現在の石油事業の基礎を築かれました。

さらに2代目の岡橋武夫社長が昭和26年に戸畑に給油所を開設したことを皮切りに、数多くの給油所を開設・運営され、戦後の北九州石油市場を力強く支えてこられました。

そして現在では、創業当初から受け継がれた石油事業にとどまらず、昨今のお客様の多様なニーズの変化に応じて、生活支援事業や保険事業などを多角的に展開されております。

この輝かしいご成長は戦前・戦後における幾多の試練を乗り越えてこられたご創業者・歴代の社員の方々はもとより、岡橋社長の優れた識見と指導力、ならびに社員の皆様方のご努力によるものと深く敬意を表する次第です。

岡橋社長と社員の皆様が「丸」となっており、組まれているお姿は、まるで一つの家族のようであり、ワシダ様の社訓「企業は人である」を

まさに体現されています。

現在、私たち石油業界を取り巻く環境は非常に厳しく、挑戦と変革が求められる時代にあります。この先も社員の皆様「丸」となって新しい道を開拓し、チャレンジ精神の溢れる企業として一層ご発展されるものと確信しております。

最後に、ワシダ様の更なる飛躍と関係者様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝辞



ほけんの窓口グループ株式会社
代表取締役社長

猪俣 礼治

創業120周年、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。

明治38年の創業以来、エネルギー分野での事業を中心に、地域社会に、お客さまの豊かな暮らしに貢献をされてこられたことに、株式会社ワシダ様の歴史と皆さまに深い尊敬の念を抱いております。

また、近年においてはお客さまにより快適で安心安全なトータルライフの提案と支援を行う「総合生活支援サービス企業」を目指すことを打ち出され、岡橋正之社長様のリーダーシップの下、事業の多角化を推進されながら、長きにわたりお客さまの幸せと社員の幸せの両輪で「年輪経営」を実現されていることを、本当に見習いたいと思う次第です。

弊社との関係は、2011年に「ほけんの窓口」のパートナー

企業様として、来店型保険ショップ事業を立ち上げられた時からですが、ほけんの窓口グループの経営理念「お客さまにとって最優の会社」と貴社の社訓「企業は人である」を土台に、保険業界の変革に一緒にチャレンジをして頂き、そして多くの成果につなげることができたことには感謝しかありません。

一方、2020年のコロナ禍からは、お客さまを取り巻く環境は大きく変わりました。社会・経済の変化の速度は速く、将来が見通しづらい、不確かな時代の到来です。そしてお客さまの価値観、行動様式も変わっていき、これまでの成功体験が通じにくくなりました。

このような環境変化は全ての企業が直面していることですが、目の前に立ちはだかる真の課題を乗り越えて、明るい、確かな未来を創るためには、時代の変化に適応する私たち自身の変化と大いなるチャレンジが必要なきに間違いはないと考えます。「ほけんの窓口」も時代の変化に対応すべく改革を進めてまいりました。

それに対しては周囲から厳しいご意見、ご指摘も頂きましたが、岡橋社長様のご対応には厳しさの中にも、いつも暖かいお心遣いを感じていました。人生の、社長としても大先輩である岡橋社長様を、なれなれしく「兄貴」と呼ばせて頂くのは大変失礼なことだと思いますが（会食の場で、何度もそう呼んで申し訳ありません）、「ほけんの窓口」事業を通じて、個人的にもそう思える関係を創らせて頂くことができたことに、心から感謝しております。

これからもお客さまを第一に考え行動し、お客さまから信用・信頼・支持され、応援されるほけんの窓口グループを、株式会社ワシダ様、岡橋社長様とともに目指し、実現していくために私も全力を尽くしていく所存です。

創業130年、150年と続く素晴らしい未来に向けて、貴社のますますのご発展と皆さまのご活躍を心から祈念しております。これからもご指導のほど、よろしくお願いいたします。

祝辞



株式会社福岡銀行
常務執行役員

野中 宏之

岡橋正之社長様はじめ役職員の皆様、株式会社ワシタ様のご創業120周年、誠にめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

ワシタ様におかれましては、120年前の1905年に新潟驚田製油所門司支店としてご創業され、九州・山口県一円への石油製品販売を手掛けられました。当時はまさに石炭全盛時代。戦後のエネルギー革命の40年以上も前から石油製品を取り扱っていたことに、先達の事業家の方々の見識に驚きを禁じえません。また、その後の二度にわたる大戦や昭和のオイルショック、平成の石油業界の規制緩和と、大激動する社会経済や業界環境の中にあつて、貫して祖業の石油製品販売に取り組み、地域やお取引先の信頼を勝ち得てられました。さらに、

時代が脱化石燃料へと舵を切る昨今では、石油事業に続く第二・第三の柱として、保険事業、生活支援サービス事業を立ち上げ、軌道に乗せられています。時代を先取りする進取の精神と推進力がワシタ様の長い歴史の根底にあつたような気がいたします。そして何よりもワシタ様の最大の強みは、それを支えてこられた社訓「企業は人なり」をバックボーンとする歴代役職員の皆様の社業に対する真摯な取組のご姿勢と熱意ではないでしょうか。

私は岡橋現社長様とは、福岡銀行八幡支店勤務を機に10年来のお付き合いをいただいています。お会いするたびに、日々、年々と益々活動量が増え、お仕事に加え、地域との交わりが広く濃くなつていくお姿に触れるにつけ、銀行の同僚とともにいつも感嘆しています。

岡橋社長様はじめ役職員の方々に接して、いますと、今もなお、「企業は人なり」の社訓を皆様が体現されているように感じ入ります。

「常に時代を先取りする進取の精神」、「時代の変化を駆け抜ける推進力」とともに「企業は人なり」を強みとするワシタ様がこれからも地域やお取引先になくてはならない存在であり続けられることを確信しています。

私も福岡銀行もワシタ様とは約半世紀もの永きにわたりご厚誼を賜っていますが、これからも時代を先取りし、未来に向けて挑戦し続けるワシタ様のお役に立てるよう、地域金融機関としてより一層努力してまいりたいと存じます。今後とも末永くどうぞ宜しくお願い申し上げます。

株式会社ワシタ様が150年、200年に向けて更に飛躍し社業がますますご発展すること、また岡橋社長様はじめ役職員の皆様、ご関係各位の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞



鎮西敬愛学園
理事長

村上 充生

先に生れん者は 後を導き
後に生れん者は 先を訪え

株式会社ワシタ様創業120周年、心よりお祝い申し上げます。門司区にあります本学園は1925年の創立で100周年を迎えます、本願寺鎮西別院に隣接する校庭の一角に「岡橋家累代の碑」、その前方に「鎮西高等学校設立功労者岡橋角之助先生の碑」が設置されています。

岡橋角之助氏は、息子さんが24歳で亡くなったことから、浄土真宗とのご縁が深まったとお聞きしています。そんな折、仏教、とりわけ親鸞聖人のみ教えを基にした人間教育の重要性、必要性を強く願われ女学校の設立に奔走されていたのが、本願寺22代大谷光瑞ご門主の奥様大谷籌子様と妹の九條武子様です。設立に向けては多くの困難がありました、しかし、仏教、とりわけ親鸞聖人のみ教えを基にした女学校設立の願いに賛同し、学校敷地を寄付してくださったのが岡橋角之助氏です。愛息の死という悲しみのご縁を尊い仏縁と転ぜられ、お蔭で、鎮西高等女学校が開校の運びとなりました。

以後、変化する時代の流れに応じ、先例にとられることなく、不断の見直しを重ね、現在では、男女共学、幼・小・中・高校の総合学園「鎮西敬愛学園」へと発展することができました。

加速化する少子化のなか、株式会社ワシタ現社長の岡橋正之氏にも、本学園理事として、学校運営にご助言、ご指導をいただいておりますこと心強く、有難く、深く感謝を申し上げます。

「先に生れん者は 後を導き 後に生れん者は 先を訪え」(安楽集)

これからも、学校設立の願いを、様々な困難の中、具現化してくださった岡橋角之助氏をはじめ、多くの先人の高く、尊い志とご労苦を訪ね、その功績を次の世代へ伝え、未来に向かって、確かな歩みを進めていくことが、先人の御恩に報いることと存じます。

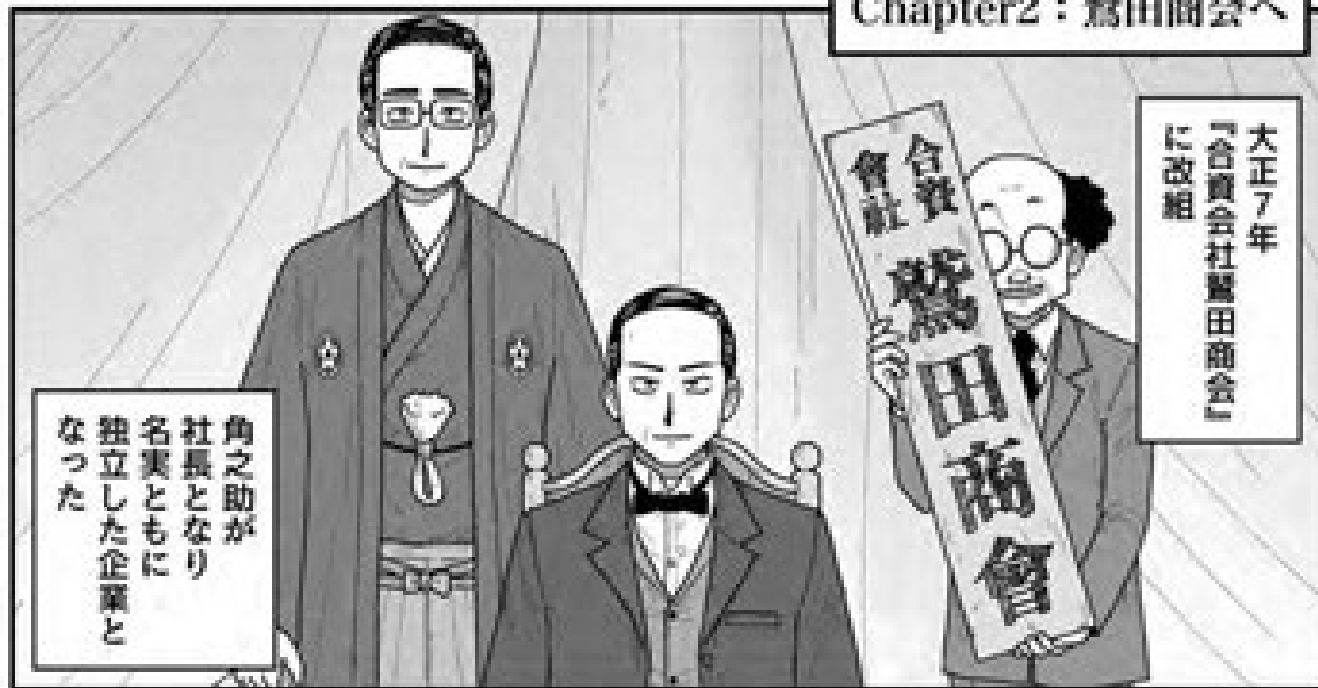
株式会社ワシタ様のご縁に連なる皆様の、益々のご隆盛を念じ上げます。

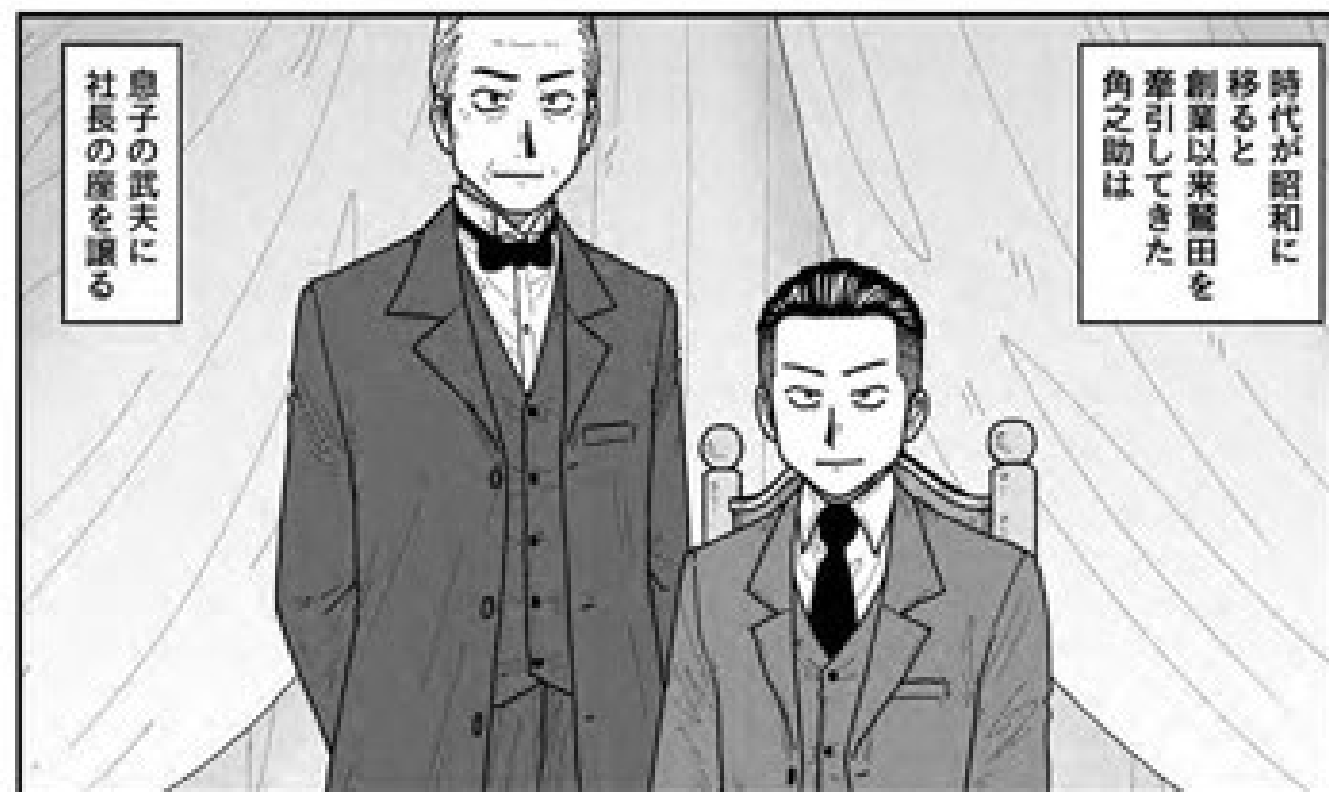


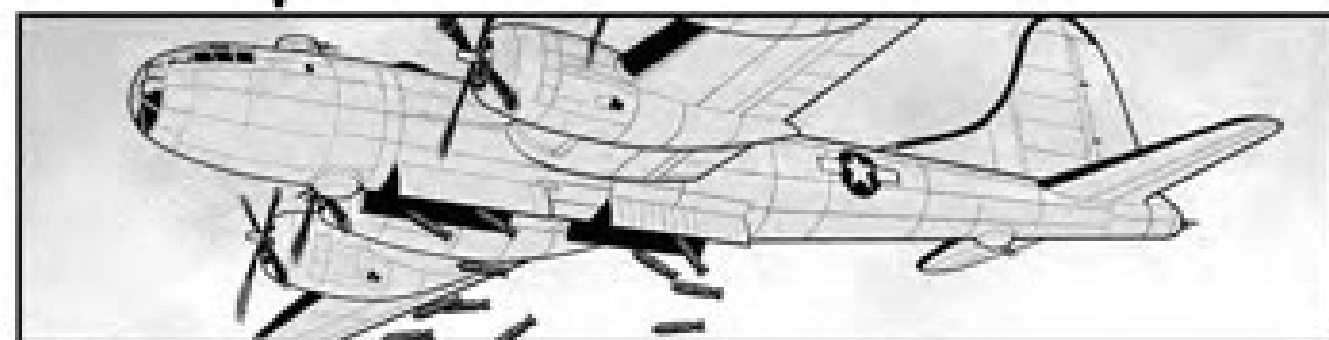




Chapter2：鷺田商会へ







Chapter3：戦時そして戦後へ





同年、
現在の本社位置に
バラック建ての事務所
『鷺田商会八幡事務所』
を建設



戦後の品薄な時代に
好調な経営を続け

昭和28年には
本社を門司から
八幡に移行



昭和26年
鷺田最初の
ガソリンスタンド
『昭和通給油所』の
開設を皮切りに



昭和32年
ワシダの前身となる
『鷺田石油株式会社』
を設立

次々と
ガソリンスタンド
を増設



父がよく
言っていました
『企業は人である』
と！

人さえいれば
何とかあります！

社長…



そうして武夫は
自宅の女中部屋を
仮事務所とし
営業を続けた

昭和20年
8月15日、終戦…



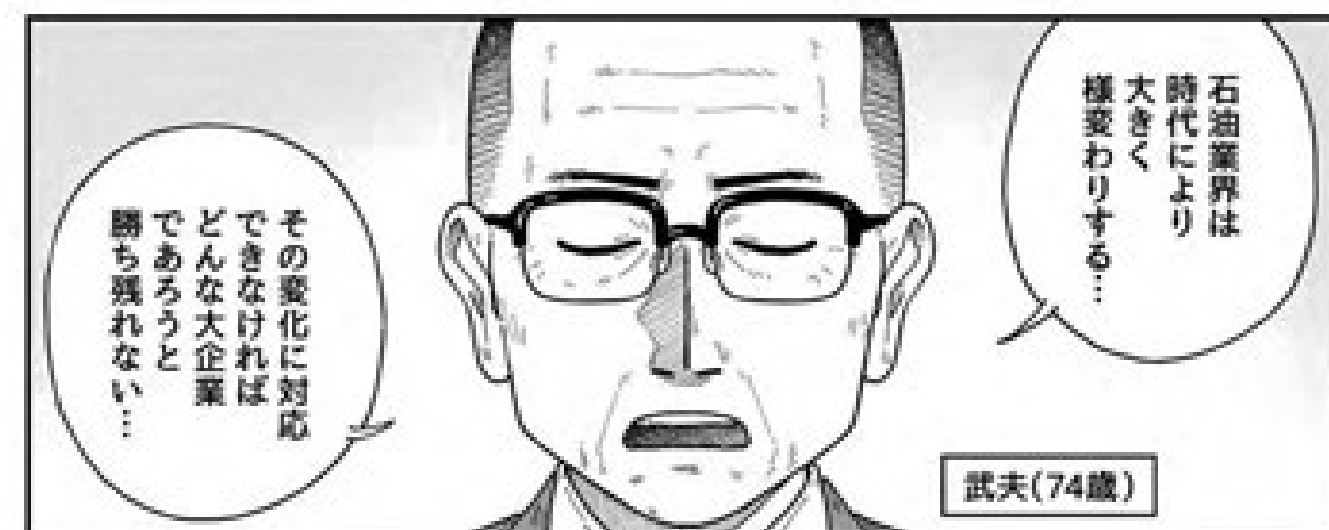
戦争と言う
危機的状況下の
石油市場を
支えた鷺田は

戦後に
大きく開花する
こととなる

まずは昭和29年
石油配給統制が
終わると

日本石油
特約店

改めて日本石油の
特約店契約を結び





平成6年
和之は会長に、
そして息子の正之が
四代目社長に就任

平成と言う
新たな時代を
新たな体制で迎える
こととなった

株式会社ワシダ四代目社長
岡橋正之(41歳)

株式会社ワシダ100周年記念

平成17年
株式会社ワシダは
創業100周年を
迎えたが

石油業界は
石油の需要減少で
揺れ動いていた

そこで正之は
生き残りをかけ
多角化戦略を
打ち出す

Benry

次に現代版便利屋
ベンリーの
フランチャイズ
『ベンリーワシダ
戸畑店』をオープン

まずは来店型
保険ショップの
フランチャイズ
『ほけんの窓口』を
各地にオープン

令和に入ると
4本目の柱、
訪問介護事業を
スタート

さらには
エネルギー事業の
一環である
車関連事業を
拡大させていく

そして令和7年
ワシダは創業
120周年を
迎える

ワシダが築いた
120年の歴史…

それは

ワシダは
エネルギー事業
保険事業
便利屋事業の
3つ柱で成長を図り
平成を乗り切る

作者



タネオマコト

株式会社COLT・TOKIWA創所属。

北九州市出身・在住・

ヤングマガジン月間賞、ちばてつや賞を受賞
して週間ヤングマガジンで漫画デビュー。

韓国釜山にてWebtoon(縦型マンガ)を学び、
韓国でWebtoon作家デビュー。

企業や行政の冊子のほか、日本・韓国の
ウェブサイトにて漫画を執筆中。

あとがき

漫画を書くにあたり、創業当初の写真や
記録は、火災や空襲などによりほとんどなく、
OBの方々の座談会や年表が記載されて
いる110周年誌を熟読して頂き、明治・
大正・昭和の時代背景を織り交ぜ書いて
いただきました。

ページ数は少ないですが、創業から、今日に
至るまでの経緯・内容の濃い作品となり
ました。



FEATURE ARTICLE

資料編

MATERIAL

SINCE
1905

ワシダ TOPICS 1

門司港から
八幡へ
本社移転の
お話



もともと本社は、門司港の甲宗八幡神社の近くにありました。しかし、第二次大戦中の火災(その後戦災)で、外浜にあった事務所を含む、付近一帯が焼け野原となってしまいました。ただ、幸い、戦災に遭わなかった、二代の岡橋武夫社長の本宅がその近くにあったため、本宅の女中部屋を一時借りて、事務所として使っていた時代もあったそうです。

現在の本社位置にバラック建ての事務所を建てたのが昭和24年。最初は「鷺田商会八幡事務所」という看板を掲げ、一営業所としてスタートしました。この時は道路に向かって建っていたとのこと。当時は、当社が建てたバラックともう一軒の建物しかなく、道路の向こう側は戦災復旧住宅で、春の町の一角だけ昔の建物が残っているくらいで、あとは黒崎辺りまで戦災で全部焼けていたそうです。

写真の建物がそのバラックの1階建て。手前が事務所で、後ろが宿直部屋でした。また、隣接地に建っていた2階建てのプレハブでは、商事部が仕事をしていたそうです。当時、販売していたのは、電動機付き自転車や石油コンロなどでした。その後、正式に本社が門司港から八幡へ移転しましたが、現在地に本社が移ったのは昭和28年でした。

そして今の4階建てビルの新築は昭和33年。1階がガソリンスタンドの事務所、2階が鷺田商会と社長室と電話交換室、3階と4階が寮で、そこには寮母さんもいました。



現在の社屋(2016年現在)
大規模なリフォームをしていますが、屋内には建築当時の社屋が残っている部分があります。

このビルを建てるのが、大変だったといいます。もともとハス田だったらしく、杭打ちを始めたらず設計以上の杭の数が必要となり、県の土木事務所の許可が下りず、そのため建ち上がるまで公庫のお金が下りなかったそうです。また、当時の中高層建築は、宿泊施設が3階以上ないと認められなかったの、最初は寮として設計し、建築を開始し、その後、設計変更をしたのですが、「これがなかなか認められず、資金繰りが大変だった」と当時を知る先輩。

八幡東区松尾町に独身用の社員寮ができたのは昭和39年でしたが、しばらくの間は本社ビル4階にも、寮のスペースが残っていたそうです。

株式会社ワシダの歴史



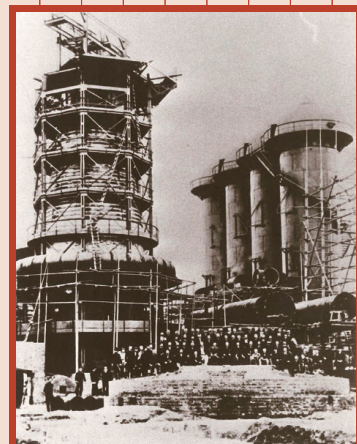
ワシダの歴史

北九州の歴史

戦中のわしだ

明治
Meiji period

1868~



1900年：東田溶鉱炉建設中に来所した伊藤博文を囲んで記念撮影。

1905年1月 新潟鷺田製油所の門司支店として九州・山口県内に
石油製品を販売

1889年 門司港 特別輸出入港指定
1899年 門司市制施行
1901年 官営八幡製鉄所作業開始



明治中期：関門海峡を航行する帆船。まだ埋め立てが始まる前。

1911年 若戸航路に最初の蒸気船就航
(若松〜戸畑)

1868年 二・三の制 年号を明治と定める
1869年 都を東京に移す
1872年 官営の富岡製糸場ができる
1885年 内閣制度ができ、伊藤博文が初代の内閣総理大臣になる
1889年 大日本帝国憲法が公布される
東海道線が全線開通する
1890年 第1回衆議院議員総選挙が行われる
第1回帝国議会が開かれる
1894年 日清戦争が起こる
1904年 日露戦争が起こる

大正
Taisho period

1912~

1919年12月 合資会社鷺田商会に組織を変更する

1942年12月 日本石油(株)製品の日鉄配給所に指定される

1947年6月 タンク船千代丸27トン積を新造

1947年6月 石油配給公団が解散と同時に日本石油(株)と
特約店契約を結ぶ

1948年6月 八幡支店事務所新築、八幡製鉄構内事務所より
移転する

1948年6月 東京都に営業所を設置(鷺田商会)

1951年8月 昭和通給油所設置(第号給油所)

1951年11月 門司区片上海岸通りに油槽所新設45軒タンク
3基、倉庫及び事務所

1953年10月 門司区井戸町より八幡区諏訪町に本店移転

1955年6月 八幡区西本町に八幡給油所設置、片上油槽所
200軒タンク新設

1957年11月 合資会社鷺田商会商事部独立、鷺田石油(株)設立

1958年10月 本店ビル新築

1958年12月 小倉区曾根町に曾根給油所設置

1959年2月 八幡区諏訪町に諏訪町給油所設置

1959年3月 戸畑区明治町に戸畑給油所設置

1960年3月 門司区小森江に小森江給油所設置

1960年10月 八幡区港町に油槽所を新設 290軒タンク1基、
27軒タンク1基

片上油槽所より45軒タンク2基移

1961年1月 小倉区に下津給油所設置

1961年1月 タンク船千代丸老朽につき売却、鋼船千代丸
60トン積を新造

1963年1月 福岡市に営業所を開設

1963年6月 門司区恒見給油所新設、(株)三栄石油店に
管理運営を委ねる

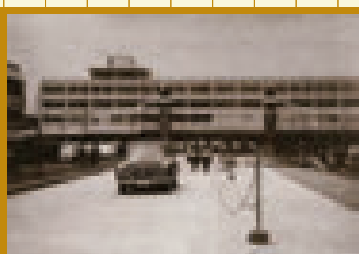
1932年 到津遊園開園翌年、動物園を開設

1942年 関門海底鉄道トンネル開通

1948年 小倉競輪場開設



1956年10月7日の井筒屋百貨店前：まだ車道は一方通行になっていない頃で、東映会館(2004年取り壊し)の位置には緑屋がある。



1958年2月の小倉新駅：開業の歓迎塔が駅ビルの建物前に立っている。ロータリーはまだ整備されていない。

1962年 若戸大橋開通

1926年 大正天皇が亡くなり、昭和天皇が即位
1929年 アメリカの不景気が世界に広がり、世界的に大恐慌になる
1939年 第二次世界大戦が始まる
1941年 太平洋戦争が起こる
1945年 広島・長崎に原子爆弾が落とされる
ポツダム宣言を受け入れ、連合国に無条件降伏する
連合国が日本を占領する(司令長官「マッカーサー元帥」)
1946年 日本国憲法が公布される
1947年 日本国憲法が施行される
6・3・3・4制の教育が始まる
1950年 朝鮮戦争が起こる
1953年 テレビ放送開始
1954年 防衛庁・自衛隊ができる

ワシダの歴史

北九州の歴史

世の中がかわった

1963年6月	八幡区三条に三条給油所設置	1963年	北九州市発足	
1963年12月	鷺田商会、大阪府堺に営業所を設置		初代市長 吉田法晴氏	
1964年1月	門司区にプロパンガス門司充填基地完成			
1964年6月	筑紫郡大野町にプロパンガス福岡充填基地完成			
1964年9月	小倉区曽根給油所独立させ、株小倉鷺田設立			
1964年11月	八幡区松尾町に社員独身寮、松尾寮をを新築 (鷺田商会)			
1965年4月	戸畑区中原に社員住宅、鷺田アパートを新築 (鷺田商会)			
1965年7月	千葉県君津町に君津出張所を設置し倉庫を新築 (鷺田商会)			
1965年12月	日石ガス大分販売(株)設立			
1966年1月	小倉区曽根町(株)小倉鷺田給油所改造竣工する			
1967年2月	直売代行部 製鉄ビル5階に移転 八幡営業所と改称する			
1967年8月	(有)今光石油設立 三井物産と特約契約する			
1967年11月	鷺田石油(株)創立10周年 社章を制定する			
1967年12月	若松区今光町に今光石油給油所建設	1967年	2代市長 谷伍平氏(6代まで)	
1968年5月	鷺田石油(株)日本石油特約店に昇格			
1968年5月	ワシダ石油瓦斯(株)設立 社長に岡橋武夫就任する			
1968年9月	千葉県君津郡君津町大字人見に君津営業所 社屋竣工(鷺田商会)			
1968年12月	戸畑区千防給油所建設 ノンスペースの給油所として当社第一号			
1969年1月	(有)今光石油本社を若松区今光町36番地に移す			
1969年7月	管理室、計算室を統合して総務部と改称 電算機システム導入、北九州電子計算センターと 契約する	1969年	戸畑共同火力(株)と第二号の公害 防止協定締結	1969年 アメリカのアポロ11号が月面へ着陸する(人類初)
1969年12月	鷺田石油(株)君津営業所を開設			
1970年4月	(有)今光石油引野給油所開所			
1971年10月	諏訪町給油所改造工事完成			1970年 日本万国博覧会(大阪万博)―アジア初の国際博覧会 よど号ハイジャック事件―赤軍派によるハイジャック
1971年11月	株式会社ワシダ設立登記完了			1971年 ニクソン・ショック―ニクソン訪中宣言 ドル紙幣の金への兌換停止
1972年4月	新戸畑バイパス給油所開所			
1972年4月	大分ワシダ石油瓦斯(株)充填基地並社屋落成	1972年	新市庁舎開庁	
1972年5月	会長 岡橋 武夫 社長 岡橋 和之就任	1973年	関門橋開通	
1973年4月	(有)小森石油設立する			
1973年6月	八幡区大字折尾乙法師に大膳給油所開設し、 (有)小森石油が運営する			1972年 アメリカから沖縄が返還される 男女雇用機会均等法の前身にあたる法律が施行
1973年12月	八幡枝光本町に高速連続洗車機設置開業する	1974年	総合体育館開設 市立美術館開設	1973年 第二次オイルショック 原油生産削減、原油価格を4倍へ値上げした 日本の高度経済成長は終焉となる 為替レートが変動相場制となる 金大中事件―韓国金の金大中が日本で拉致される
1974年2月	諏訪町給油所枝光本町に移転 枝光本町給油所と 改称開業する			1975年 沖縄国際海洋博覧会(沖縄海洋博)が開催
1974年4月	第一千代丸購入 (株)ワシダ福岡事務所開設			1976年 ロッキード事件―政財界を巻き込んだ 国際的な贈収賄事件
1974年8月	(福岡市博多区祇園町8番13号411号) (株)小倉鷺田曽根給油所の運営を継承する	1975年	中央図書館開設	1978年 第二次オイルショック 原油生産が中断、原油価格の値上げ 国産のワールドプロセッサ(ワープロ)が誕生する 新東京国際空港(成田国際空港)が開港する 日中平和友好条約締結
1975年7月	保険代理業を兼営する			
1975年12月	共栄火災海上保険相互会社と契約を結ぶ			
1976年7月	君津営業所所属 第一千代丸売却			
1976年11月	八幡給油所改装完工			
1976年11月	君津営業所閉鎖 営業を(株)ワシダに委託する (有)折尾ワシダ設立する			
1977年7月				
1977年9月	(有)折尾ワシダ楠木給油所開所			
1978年10月	(有)折尾ワシダ医大前給油所営業開始			
1978年11月	(株)宮川石油店神原給油所を引継ぎ営業開始 (日本石油社有 当社運営)			
1978年12月	三条給油所改造工事完了 三条、枝光本町、八幡の3給油所に於て POSシステム採用			



1962年9月：開通直後、歩行者で賑わう若戸大橋。総延長2068m、つり橋部分680mで完成時は東洋一の規模だった。人道は昭和62年に車道に変わった。



1964年9月：小倉区砂津西鉄営業局前を行く聖火リレー。白バイの先導で走る走者を拍手で迎える。

ワシダの歴史

北九州の歴史

世の中できづくと

[illegible]

世の中のできごと



ワシダ110周年記念座談会

ロゴマーク決定の経緯

廣 会社のマークの社内募集がありました。私の(デザイン)が採用されました。

柴 私も資料(昔の社内報①)を見つけて、お聞きしたいと思っていました。

廣 ワシダの羽とWをあわせて考えました。実はこれ(①)なんです。この表彰状(②)もいただきました。

舩 金一封とかでしたの？

吉 賞金付きでしたよね？

廣 優秀作品と決定してなんぼもらったかな。

緒 相当大金だったでしょ、社章ですから。

朝 マークと言ったら私も社章(③)を持ってきました。そしてこのマーク(④)も。

社 それは何についていたのですか？

朝 これは昭和47年くらいに、商会(鷺田商会)の社員全員にブレザーコートを買っていただいて。ポケットのマークだけとって残しておきました。

舩 あれ、往生したんよ。税務署からやかましく言われて。

廣 千代丸という船が君津に出るとき、出航記念に作ったのがこれ(⑤)です。また、これ(⑥)も私がデザインしたネクタイピンです。

朝 それまでは、カタカナのワに○でした。ね。

一 同 そうそう、⑦だったですね。

舩 太平印刷のデザインの専門家と話をしたら、これ(①)を採用した。セピア色というか、それがワシダのカラーで。

柴 カラーもこの時に決まったんですね。

舩 ですから、社内報もセピア色でしょう。あれがそうなんです、そのカラーで、ということ。

舩：樹本氏
朝：朝倉氏
廣：廣谷氏
緒：緒方氏
吉：吉岡氏
社：岡橋社長
柴：柴田氏



大金だった!?

社内募集 賞金付き

WASHIDAのWは鷲の羽の形

ワシダのカラーになる

プロのデザイナーが太鼓判!

プロのデザイナーが太鼓判!

昭和43年5月25日の社内報「わし」第23号にある通り、昭和42年11月11日、鷺田石油(株)(現・ワシダの前)創立10周年記念事業の一つとして、社章図案(いわゆるロゴマーク)を全社員向けに懸賞募集した結果、現在を使用するワシダのマークが決定しました。図案の作者は、第二石油部の廣谷係長(当時)でした。

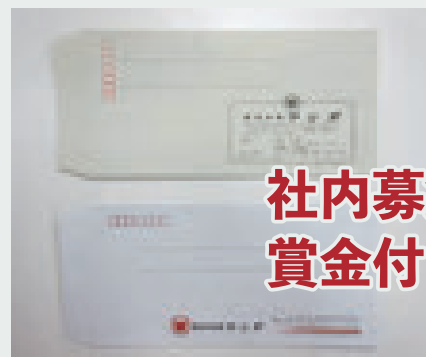
WASHIDAのWと鷲の羽の形を組み合わせた図案で、太平印刷のデザイナーさんの修正もなく、すんなり決まったようです。以来60年近く、現在まで使用し続けている「マーク」を見ると、今更ながら完成度の高さを感じますね。

同マークの新社章作成

110周年記念事業の一つとして、新たに社章を作成しました。男性社員のスーツの襟に燦然と輝いています。もちろん「マーク」は変わらないまま。



また、本社では、110周年を機に、封筒のデザインも見直しました。が、「マーク」はそのまま、レイアウトをアレンジしたもの。廣谷さんの発案された「ワシダ」のマーク社章は、「ワシダ」を象徴する印として、これからも輝きを放ち続けることでしょう。



ワシダグループ社章決定

ワシダの歴史は、昭和43年5月25日の社内報「わし」第23号にある通り、昭和42年11月11日、鷺田石油(株)(現・ワシダの前)創立10周年記念事業の一つとして、社章図案(いわゆるロゴマーク)を全社員向けに懸賞募集した結果、現在を使用するワシダのマークが決定しました。図案の作者は、第二石油部の廣谷係長(当時)でした。

WASHIDAのWと鷲の羽の形を組み合わせた図案で、太平印刷のデザイナーさんの修正もなく、すんなり決まったようです。以来60年近く、現在まで使用し続けている「マーク」を見ると、今更ながら完成度の高さを感じますね。

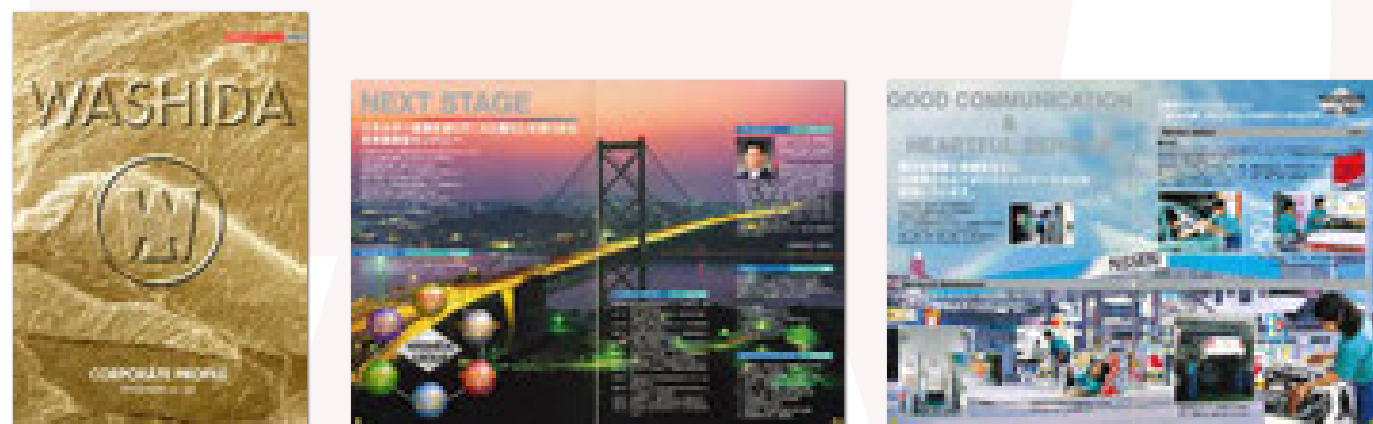
昭和61年頃 1986年頃



平成04年頃 1992年頃



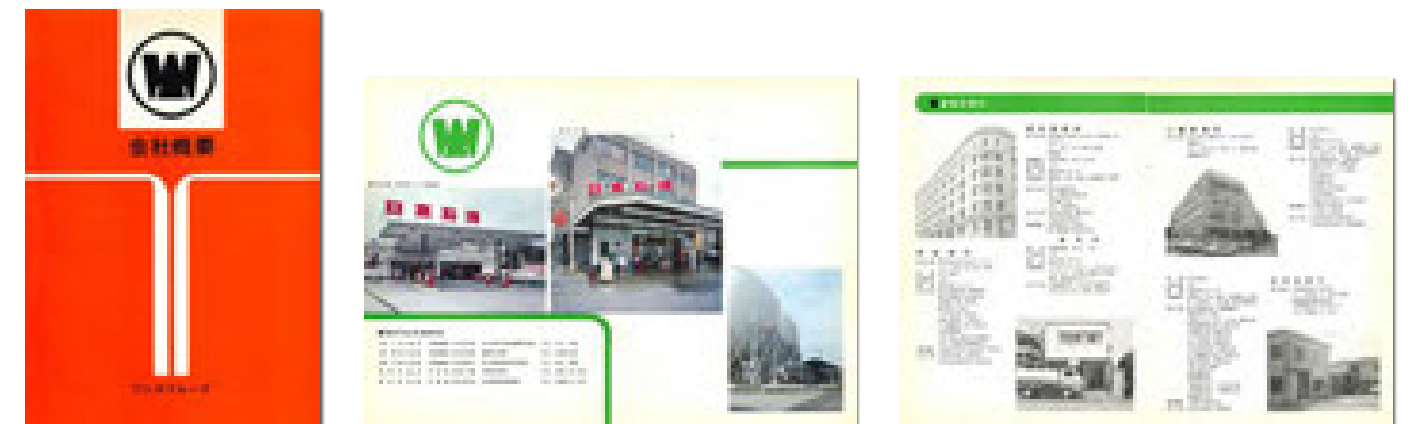
平成10年頃 1998年頃



昭和44年頃 1969年頃



昭和47年頃 1972年頃



昭和47年頃 1972年頃



野球部イーグルス

歴代の野球部メンバー 昭和26年(1951年)創部。当時は、かなり強かったそうです。



第一期メンバー



第一期メンバー



第二期 黄金世代

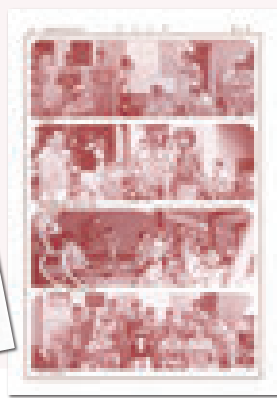


第二期 黄金世代



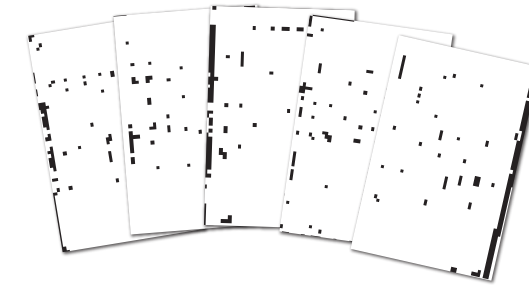
昭和60年頃(1985年頃)

ワシダ野球部 九州大会へ (平成6年1994年)



その他の資料

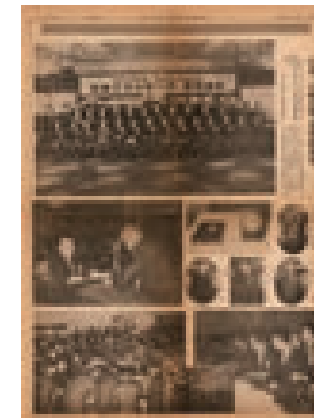
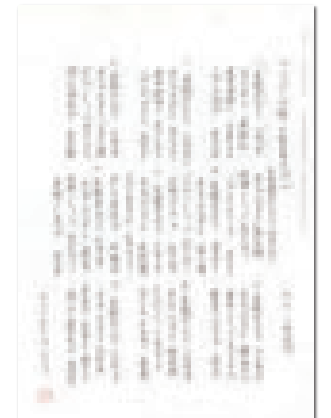
器具臺帳 (明治38年1905年10月頃)



第一千代丸回航記念



日刊燃料油紙新聞 資源エネルギー庁 長官表彰 (昭和55年1980年)

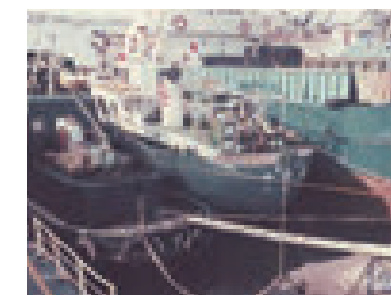
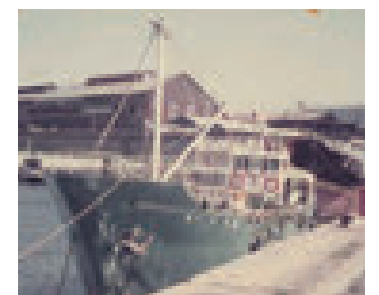


ワシダ小唄

ワシダ石油特約店昇格記念



第一千代丸



折りたたみ傘



新社章制定記念 ネクタイピン・バッジ



式典・会合・イベント



防災協定締結式



3事業合同店長会



女子会



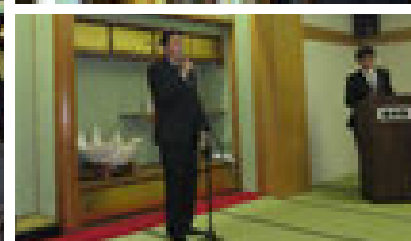
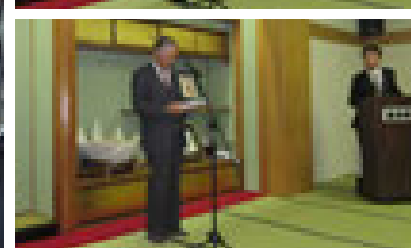
方針ミーティング



25時間駅伝大会



方針ミーティング後



ワシダ110周年祝賀会

式典・会合・イベント



お正月 (1952年)



鷺田石油 入社 (1968年)



レクリエーション



鷺田石油グループ社員決起大会



ソフトボール大会



囲碁大会



取締役会合 (1976年)



入社 (1995年)



第46期 決起大会



ワシダ100周年祝賀会 (君津)

式典・会合・イベント



聖火リレー (2021年)



北九州エネルギー部方針ミーティング (2022年)



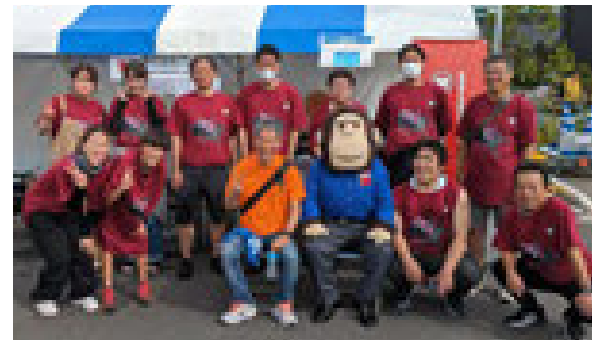
関東支店方針ミーティング写真① (2023年)



関東支店方針ミーティング写真② (2023年)



関東支店方針ミーティング写真③ (2023年)



まつり八幡東① (2023年)



まつり八幡東② (2023年)



北九州エネルギー部方針ミーティング (2023年)



社長古希祝い (2023年)

式典・会合・イベント



関東支店方針ミーティング① (2016年)



関東支店方針ミーティング② (2016年)



方針ミーティング〈北九州〉(2017年)



CROSS-FMコラボ (2018年)



方針ミーティング〈北九州〉(2018年)



方針ミーティング〈北九州〉(2019年)



ほけんの窓口則松店オープン (2020年)



女子会 (2020年)



本社2階改装〈前〉(2020年)



本社2階改装〈後〉(2020年)

親和会



社員旅行 列車内



社員旅行 大分県志高湖 (1963年)



社員旅行 香川県屋島 (1975年)



販売店研修旅行 島根県 (1985年)



社員旅行 鹿児島県霧島神宮 (1984年)



釣り班 (1988年)



登山班 (1988年)

式典・会合・イベント



「マイニチ出口調査」の取材がありました (2024年)



東田緑地ボランティア (2024年)



方針ミーティング写真(関東) (2024年)



方針ミーティング写真(北九州) (2024年)

親和会



ハウステンボス (2019年)



親和会ディズニーリゾート (2023年)



北海道① (2023年)



軍艦島クルーズ② (2019年)



石垣島 (2023年)



沖縄 (2023年)



或る列車 (2023年)



北海道② (2023年)

親和会



ハウステンボス (1993年)



北海道小樽 (2014年)



京都・亀岡 旅館前 (2015年)



社員旅行 小豆島 (1995年)



北海道富良野 (2014年)



清水寺 (2015年)



軍艦島クルーズ① (2019年)

FEATURE ARTICLE

店舗紹介

STORE INTRODUCTION

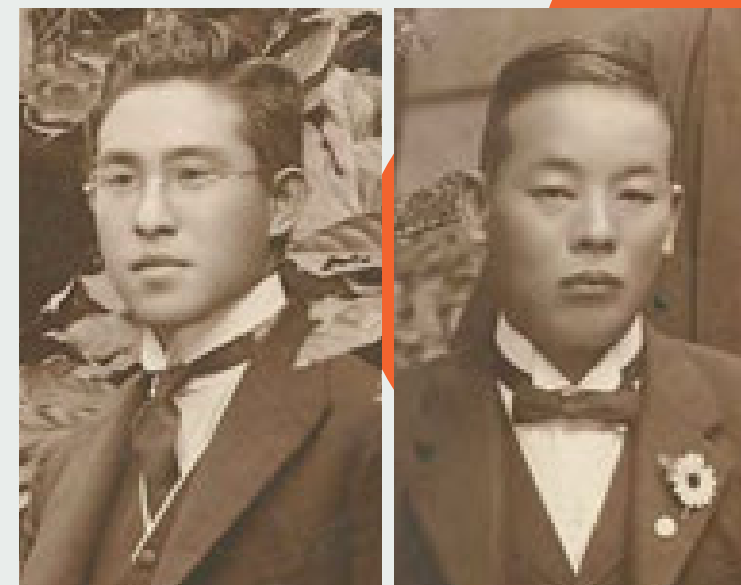
SINCE
1905

ワシダ TOPICS 3

ワシダの社長の名前は、
「なぜ鷺田さんじゃないのですか？」

これはよく尋ねられる質問の一つです。
ワシダの起りを辿っていくと、明治29年に新潟で石油削井事業に成功した「鷺田製油所」という小さな製油所に行き当たります。その九州地区の販売拠点として、門司に出張所設立の相談を受け、森口両之助、岡橋角之助兄弟が鷺田製油所の門司出張所として、「新潟鷺田製油所門司支店」を個人創業したのがワシダの始まりです。

残念ながら、明治40年2月に鷺田製油所は日本石油(当時)に買収されたため、鷺田製油所という名前は10年余り、また「新潟鷺田製油所門司支店」に至っては、わずか2年余りしか存在しなかったこととなります。(買収後は日本石油からの仕入となり、現在まで100年以上続いています。)その後、漢字の「鷺田」はカタカナの「ワシダ」とはなりましたが、この名称とブランドを100年以上にわたって守り続けています。

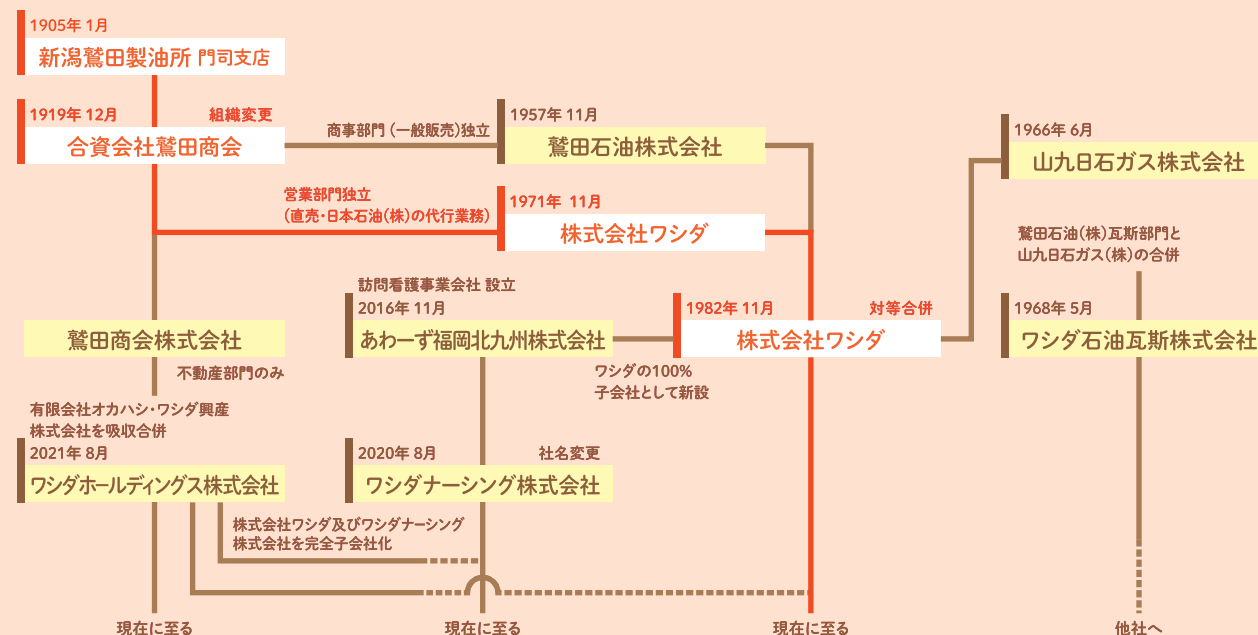


創業者 森口 両之助(左)・岡橋 角之助(右) 兄弟

話は戻りますが、「鷺田製油所」を起こしたのは「鷺田種徳さん」という方です。つまり、ワシダという名前のルーツは、新潟にいた「鷺田種徳さん」の苗字から付いたということになりますね。

石油ショックやガソリン消費の落ち込みなど、外部環境の影響も大きく、戦後に出来た石油会社の多くは吸収合併や統合され、旧日本石油の特約店のうち北九州の地場の独立系で残っているのは「ワシダ」くらいかも、と言われています。
「ワシダ」という名前に、不思議なご縁を感じずにはいられませんね。

ワシダグループ系譜



ワシダの店舗と営業所

※ ■の番号が現在営業中の店舗

1 本社 諏訪町 昭和34年(1959年)～



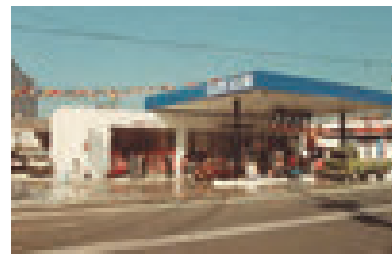
◎ 本社

2 八幡店 昭和30年(1955年)～



◎ 八幡店

3 小森江店 昭和35年(1960年)～



昭和62年(1987年)～

4 下到尾店 昭和36年(1961年)～



5 新戸畑バイパス 昭和47年(1972年)～



昭和62年(1987年)～

6 三条店 昭和38年(1963年)～



7 千防店 昭和43年(1968年)～



8 松ヶ島油槽所



9 カ丸店 昭和55年(1980年)～



10 楠木店 昭和55年(1980年)～



11 折尾店 昭和61年(1986年)～



12 永犬丸店 昭和61年(1986年)～



13 枝光本町店 昭和49年(1974年)～



14 ◎ 山王店



15 ◎ 戸畑店



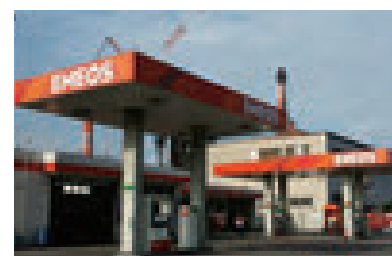
16 ◎ 前田店



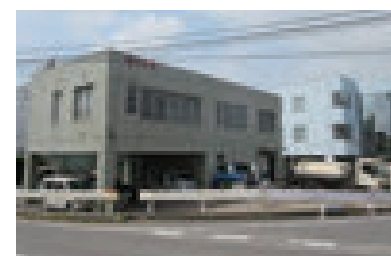
17 ◎ 戸畑構内SS



18 ◎ 君津構内SS



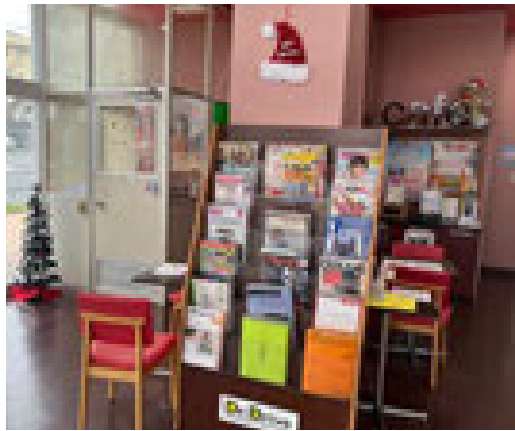
19 ◎ 君津営業所



豊前店 平成5年(1993年)～



Dr.Drive山王店



ドクタードライブ山王店は、MGを中心に9名で活動し地域密着型のサービスステーションを目指しており、日頃からお客様とのコミュニケーションを大切にしています。又カーコンビニ倶楽部とのフランチャイズ契約店で軽板金とキーパーコーティングや洗車を主軸にした、お車をキレイにを提供しています。



Dr.Drive前田店



こんにちは!ワシダ前田店です!当店は地域に寄り添えるSS・ヒトに愛されるSSをモットーに個性豊かなスタッフと共に日々明るく・元気に営業しています!愛車のコーティングや車検・その他メンテナンスやお車に関することなら何でもご相談下さい!また、ワシダは便利屋事業や保険の窓口業務等もやっておりますのでそちらも是非ご覧ください。スタッフ一同、お客様のご来店を心よりお待ちしております!!



Dr.Drive戸畑店



戸畑駅の目の前にあり、非常に便利な場所にある戸畑店は4人の従業員でお店の運営をしています。Keeperコーティング・車検・整備・レンタカーの3つに特に力を入れております。毎年Keeper選手権に参加し日頃からお客様のお車を綺麗また丁寧に施工させて頂いております。認定整備工場の為、分解整備も可能です。ニコニコレンタカーをスタンド内で営業しております。



Dr.Drive八幡店

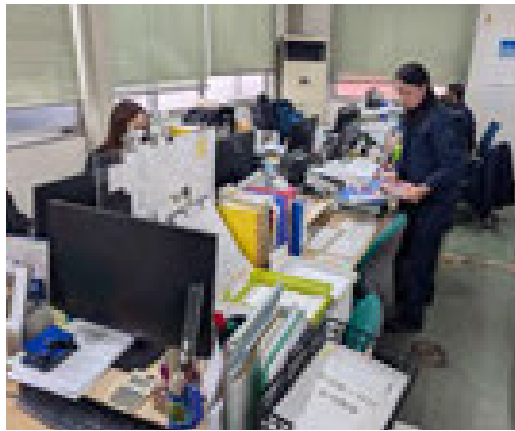


八幡店はスタッフ社員4名、アルバイト7名で運営しております。車検・タイヤ・洗車などの基本商材を扱うとともに(株)ワシダのSSでは唯一のENEOSカーリース販売店となっておりお客様へ新たなカーライフのご提案をしています。また、ニコニコレンタカー八幡店を併設しておりレンタカー事業にも取り組んでおります。今後も、勝ち残るSSを目指していきたいと思います。



北九州支店

・日本製鉄株式会社 ・九州製鉄所 ・戸畑構内に拠点があり、燃料油や潤滑油の販売・配送を行っています。さらにENEOS株式会社の代行業務や油圧設備等のメンテナンス作業、産業廃棄物の収集運搬も行っています。



戸畑構内SS

戸畑区にある九州製鉄所内のサービスステーションです。お車のお困りごとは是非当店へ。解決に導きます。



車販課

こんにちは！ 車販課の横山と神部です。以前からワシダの車販売を頑張ってきて数年、昨年3月より、新人の神部社員とともに販売台数を徐々に実績を上げて、今では多数のメーカーの新車も扱える程になって来ました。ほぼ、個人戦勝負に強い1課ではありますが、お客様のご要望をしっかりと聞くこと・相談して良かったと思える、お車選びを真剣にお手伝いさせて頂く事をモットーに邁進して参ります。



カーライフセンター

北九州市八幡西区の指定整備工場です。経験豊富なスタッフが丁寧かつ迅速に対応し、車の修理やメンテナンスを行います。高い技術力とお客様の満足を最優先に、質の高いサービスを提供します。



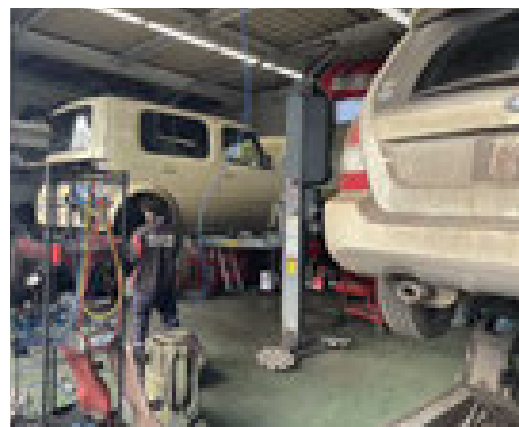
関東支店



主に石油製品の販売、産業廃棄物の収集運搬、タンクや設備のなどメンテナンスを中心に様々な業務をこなし、成長著しい勢いのある部署です。所属メンバーは明るく活気があり団結力が高く『よく食べ、よく働き、よく蓄える』を合言葉に心も体も成長中です！



君津構内SS



君津構内SSでは名前の通り日本製鉄(株)君津地区構内に立地しており一般のお客様は来店できませんが工場内で働く方の燃料給油及び車両メンテナンスや工事で扱う機材、重機への燃料配達等行っております。整備では工場内という特殊な環境下で使用しております車両のメンテナンス・修理を請け負っておりますので構内でのお客様の困りごととはぜひワシダへ！プロの整備士が対応させていただきます。



ベンリーワシダ戸畑店



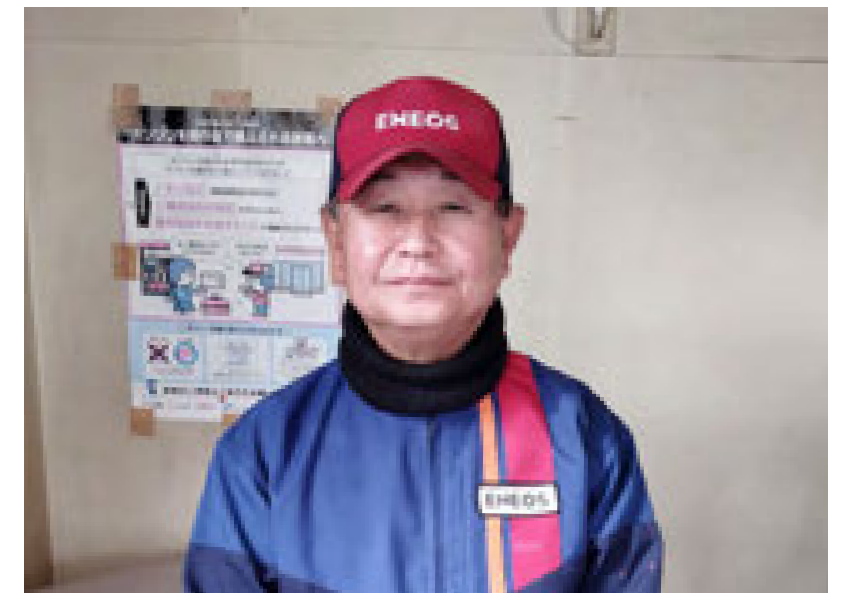
地域密着型の便利屋サービスを提供しています。ちょっとした修理から、大掛かりなメンテナンスまで、お客様の日常生活を支える幅広いサービスを展開しています。どんなお困りごとでも、お気軽にご相談ください。



小倉構内SS



小倉構内SSは、燃料の供給だけでなく、車のメンテナンスも提供しています。お客様のカーライフをサポートします。安心してご利用いただけるサービスを心掛けています。



ほけんの窓口 黒崎店

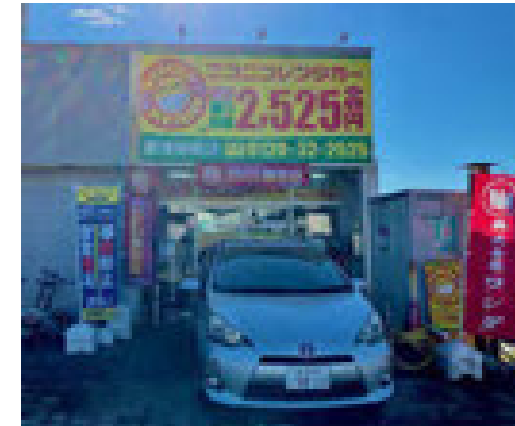
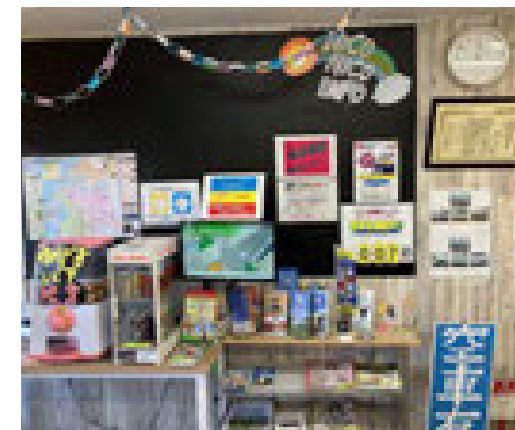


ほけんの窓口 小倉守恒店



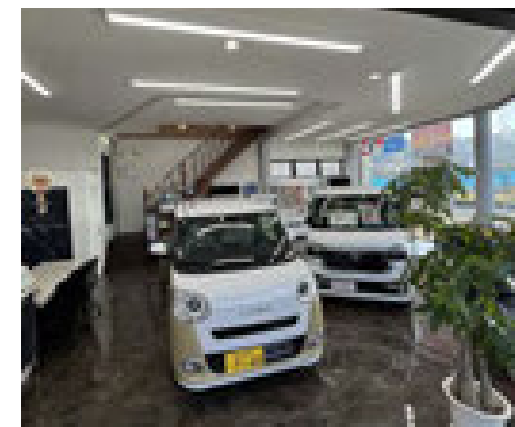
店舗近隣には駅や商業施設、学校があり住みやすく子育てに優しい街づくり環境が形成された地域です。地域に根付いた店舗を目指し、スタッフ一同日々お客さまづくりに励んでいます。

ニコニコレンタカー 君津駅前店



2018年4月にオープンして2024年で6年目です。1年目でお客様大賞を受賞し、2024年度第1回目となるお客様大賞PREMIUMを受賞することができました。当店舗は君津駅南口ロータリー側にあり徒歩1分。高速バスの発着場所にもなっており利便性の良いところです。他店舗にはないサービスを提供し、お客様に選ばれるようこれからも、店舗スタッフ一同「安心・安全・快適」を継続して取り組んでいきます。

オートガレージ



木更津市にある信頼の自動車修理工場であり、車販売も行っています。経験豊富な技術者が迅速かつ丁寧なサービスを提供します。車検、修理、メンテナンス、そして車購入まで、お客様のニーズに幅広く対応します。お客様の安心と満足を最優先に考えています。

ほけんの窓口 則松店



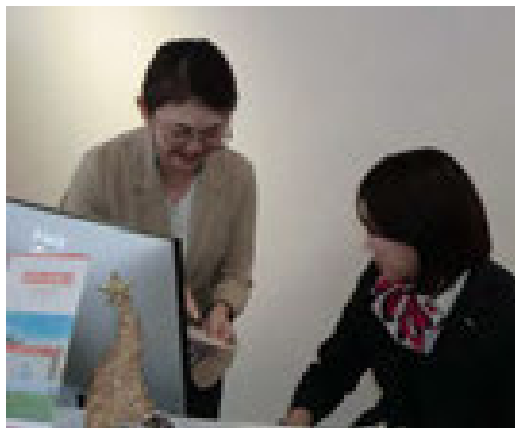
保険部として6店舗目の1番新しい店舗になり、立地は交通量が多い道路に面している路面店です。
周りには飲食店や家電量販店が多く、地域に密着した店舗を目指し、多くの方が来店いただける活気のある店舗づくりを行っております。



ほけんの窓口 和白店



2015年糟屋郡新宮町に新宮中央駅前店としてオープン。その後2022年4月福岡市東区和白に移転致しました。福岡和白病院近くに位置し、主に糟屋郡や福岡市東区の多くのお客様にご利用いただいています。



ほけんの窓口 千早店



福岡市の中でも特に、発展目覚ましいJR千早駅前に位置する店舗で、周囲は、街並みも新しく、活気のあるエリアです。活気のある街やお客様に負けないう、スタッフ一同元気いっぱい日々奮闘しています！



ほけんの窓口 長住店



2019年オープン。住所は樋井川ですが、長住店。
MrMax第1号店の真向いで日ハムの新庄監督の出身地。
少し古い町並みで、ちょっとノスタルジックな気持ちになれます。



ほけんの窓口店舗とまんぷく訪問介護 リハビリステーション事業所



まんぷく訪問介護 リハビリステーション事業所

「グループ会社 ワシダナーシング株式会社」

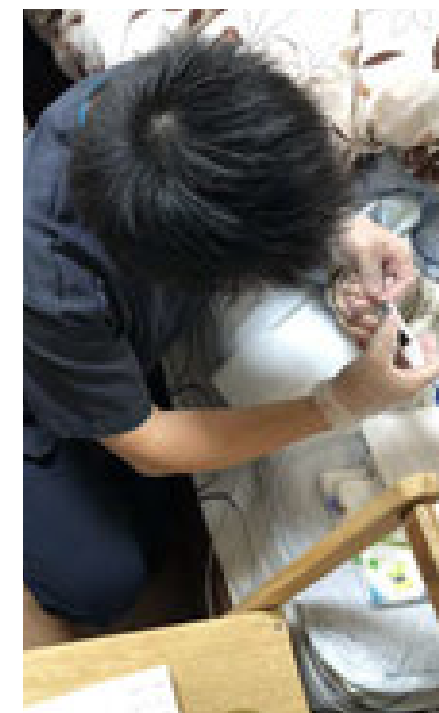
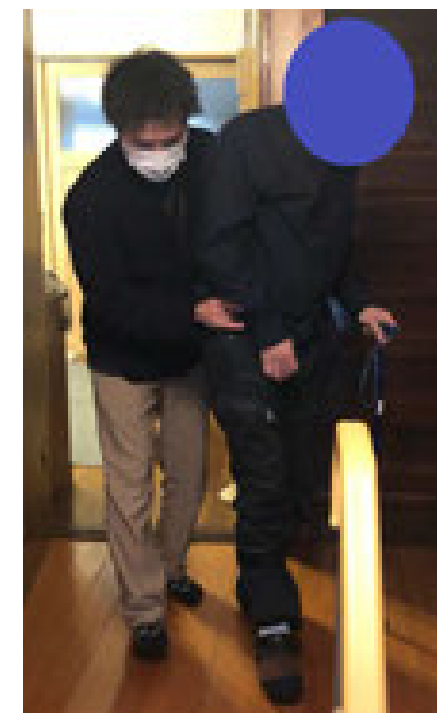
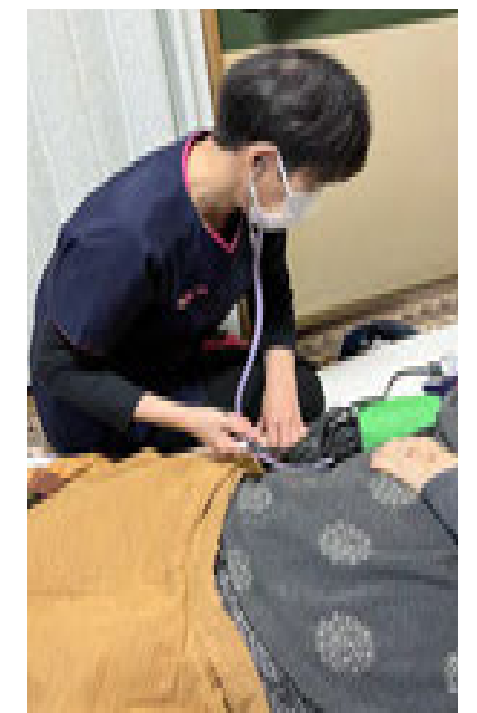
まんぷく訪問看護リハビリステーションは、福岡市を中心に訪問看護、訪問リハビリを行っています。看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が在籍しており、小児・終末期・精神疾患など幅広い分野に対応しています。「家族の次に相談できる存在でありたい」の理念の下、土日祝含め24時間対応制(緊急時は365日対応)で皆様に寄り添い、サポートさせて頂きます。

管理者コメント

まんぷく訪問看護リハビリステーションは、ご自宅で療養をされている方に「安心と笑顔をお届けできる存在」でありたいと思っています。小児から高齢者の方まで、あらゆる疾患や障がいをお持ちの方が住み慣れた地域でその人らしく生活ができるよう看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が常に連携をとり支援してまいります。地域住民の方々に信頼していただけるステーションであれるよう、スタッフ一同尽力してまいります。



仕事風景



FEATURE ARTICLE

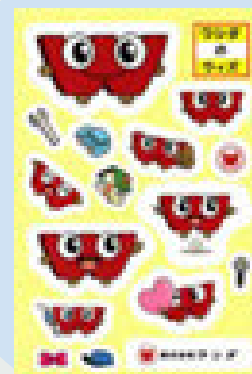
会社概要

COMPANY

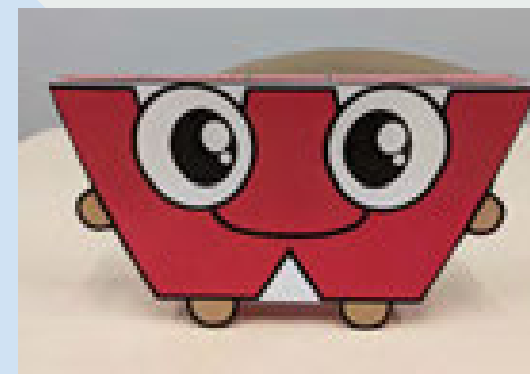
SINCE
1905

ワシダ TOPICS 4

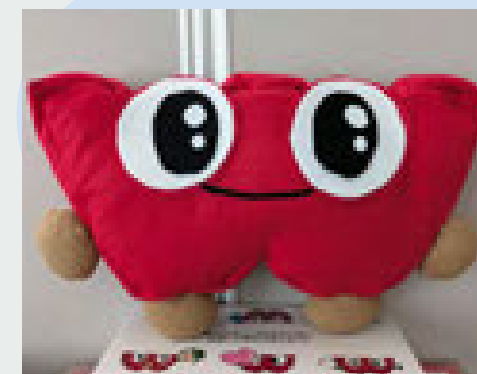
120周年 記念品 紹介



ウィズシール



ペーパークラフト



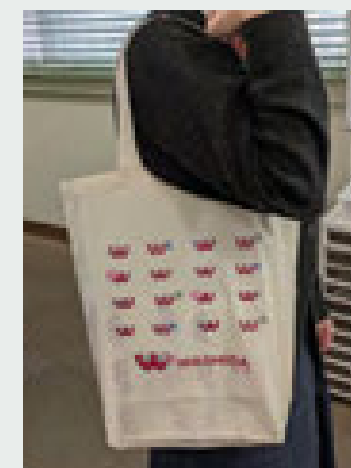
ウィズぬいぐるみ



限定名刺



名刺用シール



エコバッグ



記念酒「天心」



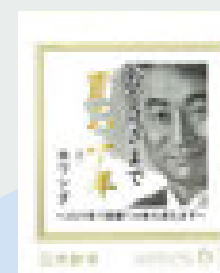
ボックスティッシュ



タオル



切手 ①



切手 ②



切手 ③



切手 ④



切手 ⑤



切手 ⑥

事業内容

1. 石油製品の販売及び納入代行業
2. 自動車用品、TBAP販売、車検
3. 化学品、薬品、公害防止機材の開発と販売
4. 合成樹脂製品及び再生品の販売
5. 水道管保温資材の販売
6. 損害保険・生命保険の募集に関する業務
7. 産業廃棄物の収集、運搬業務
8. 車両の販売及び買い取り
9. レンタカー事業
10. 生活支援サービス・リビングサポート業務
11. 油圧機器・配管の油洗浄・化学薬品洗浄工事及び配管設備工事業
12. 自動車の設備及び修理業務
13. 古物営業法に基づく古物の売買業務
14. 一般建築工事業及び土木工事業
15. たばこの販売業務

取引先

- 主要取引先
日本製鉄(株) (旧新日鐵住金(株))、山九(株)、
日鉄ケミカル&マテリアル(株)、濱田重工(株)、
日鉄テックスエンジ(株)、日鉄スラグ製品(株)、
日鉄乾溜工業(株)、日東交通(株)、日鉄物流(株)、
北九州市、ENEOSTレーディング(株)、
ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)
- 特約契約
ENEOS株式会社
- 取引銀行
福岡銀行、西日本シティ銀行、北九州銀行
みずほ銀行、大分銀行、十八親和銀行

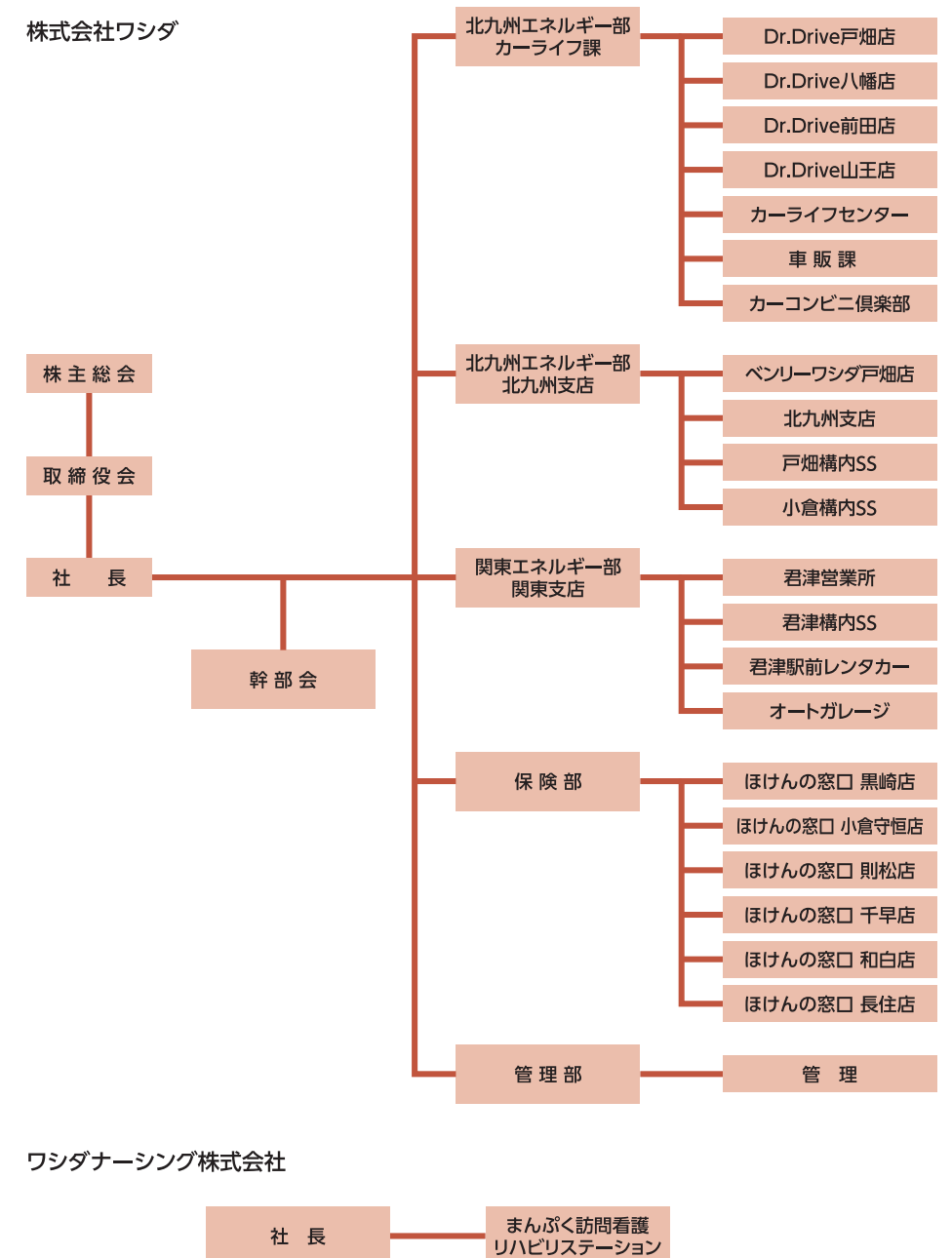
会社概要

- 商 番 : 株式会社ワシダ
- 本社所在地 : 北九州市八幡東区枝光本町3-1
TEL 093(671)6931(代) FAX 093(671)6936
URL https://washida-jp.com
- 創業年月日 : 1905年(明治38年)01月15日
- 設立年月日 : 1957年(昭和32年)11月11日
- 従業員数 : 142名 (2024年8月現在)
- 資本金 : 5,000万円
- 売上高 : 42億1,544万円(2023年度)
- 役員 : 代表取締役社長 岡橋 正之 常務取締役 森内 政文
取締役 安永 国寿 取締役 花澤 丈夫
取締役 岡橋 功樹 監査役 松本 雄二

会社概要

- グループ会社
 - ・ワシダホールディングス株式会社
北九州市八幡東区枝光本町3-1
TEL : 093(671)6931(代) FAX : 093(671)6936
 - ・ワシダナーシング株式会社
北九州市八幡東区枝光本町3-1
TEL : 093(671)6931(代) FAX : 093(671)6936
- 事業所
 - ・Dr.Drive戸畑店
〒804-0061 北九州市戸畑区中本町12-25
TEL : 093(881)5075 FAX : 093(881)5078
ニコニコレンタカー戸畑店 併設
 - ・Dr.Drive八幡店
〒805-0061 北九州市八幡東区西本町1-18-17
TEL : 093(671)3155 FAX : 093(671)3155
ニコニコレンタカー八幡店 併設
 - ・Dr.Drive前田店
〒805-0069 北九州市八幡東区前田2-3-25
TEL : 093(671)0701 FAX : 093(671)0720
 - ・Dr.Drive山王店
〒805-0017 北九州市八幡東区山王1-17-11
TEL : 093(681)6891 FAX : 093(681)6892
 - ・車販課
〒804-0061 北九州市戸畑区中本町12-25
TEL : 0120(05)5960
 - ・北九州支店
〒804-0004 北九州市戸畑区大字戸畑255-26
(旧八幡営業所)TEL : 093(884)1651
FAX : 093(884)1641
 - ・戸畑構内SS
〒804-0004 北九州市戸畑区大字戸畑255-26
TEL : 093(872)5092 FAX : 093(884)1641
 - ・小倉構内SS
〒803-0803 北九州市小倉北区許斐町1番地
TEL : 093(582)3933 FAX : 093(592)3933
 - ・関東支店
〒299-1147 千葉県君津市人見1040-22
(旧君津営業所)TEL : 0439(52)3531
FAX : 0439(52)3824
- ・君津構内SS
〒299-1141 千葉県君津市君津1
TEL : 0439(52)2517 FAX : 0439(50)1434
- ・ニコニコレンタカー君津駅前店
〒299-1151 千葉県君津市中野1-2-6-B
TEL : 0439(27)0200
- ・ワシダオートガレージ
〒292-0821 千葉県木更津市桜町2丁目7-5
TEL : 0438(53)7718 FAX : 0438(53)7719
- ・ワシダカーライフセンター
〒806-0002 北九州市八幡西区東浜町12-15
TEL : 093(644)1589 FAX : 093(644)1590
- ・ベンリーワシダ戸畑店
〒804-0081 北九州市戸畑区千防3丁目5-5
TEL : 093(881)5777 FAX : 093(881)5778
- ・ほけんの窓口 黒崎店
〒806-0028 北九州市八幡西区熊手2-3-16-1F
TEL : 093(644)0100 FAX : 093(644)0090
- ・ほけんの窓口 小倉守恒店
〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町2-3-1
TEL : 093(965)6025 FAX : 093(965)6135
- ・ほけんの窓口 千早店
〒813-0041 福岡市東区水谷2-50-1
TEL : 092(663)1660 FAX : 092(663)1675
- ・ほけんの窓口 和白店
〒811-0202 福岡市東区和白3-18-36イーハトーブ1F
TEL : 092(605)0301 FAX : 092(605)0302
- ・ほけんの窓口 長住店
〒814-0153 福岡市城南区樋井川3-17-7-1F
TEL : 092(554)2330 FAX : 092(554)2335
- ・ほけんの窓口 則松店
〒807-0831 北九州市八幡西区則松7-16-39
TEL : 093(693)1072 FAX : 092(693)1082
- ・まんぶく訪問看護リハビリステーション
〒812-0874 福岡市博多区光丘町1-1-36-104
TEL : 050(6861)0105 FAX : 092(558)3780

組織図



ワシダ120周年記念 若手社員の座談会

2024年12月6日(金)

「30年後のワシダについて」をテーマに120周年記念座談会を開催した。

参加者は、北九州支店の岡橋功樹支店長、Dr. Drive 戸畑店の黒木店長、Dr. Drive 八幡店の田之上店長、ほけんの窓口小倉守恒店の原口社員、ほけんの窓口黒崎店の松山社員、まんぶく訪問看護リハビリテーションの江頭社員(オンライン)と120周年記念事業準備委員会から管理部の波多江社員、網川の計8名でスタートした。

「30年後のワシダについて」



保険部

相談分野が保険だけでなく金融もあり、多岐にわたる為、金融証券の取引などの資格を取得し相談の幅を広げる。

エネルギー部やベンチャー等、自部署以外は不明な部分が多く、案内や紹介が出来ていない。スキルではないが、知識として他の部署の事が分からない。会社が支援し、全社員、危険物取扱(乙四種)を取得する。また、エネルギー部でも生保の資格を取得すれば、他部署の理解も深まるのではないかと。新店舗を作る際にほけんの窓口ブースを併設する。以前、車販の時だけ、保険部の人にお店に来てもらって保険の話をしてもらっていた、自動車保険の紹介、車関連の紹介を行う様にしてはどうか。

今後、まんぶくと保険部でやり取りが出来れば、利用者さんに保険を紹介するなど可能になる。



保険部の紹介可能な保険会社は、22社あるので、他社より良い提案が可能ならず、法人営業を保険部が行えば、生き残れると思うので、連携を強めると良い。

議題1

未来の働き方

(30年後の働き方)

保険部

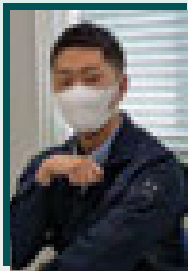
現在のオンライン相談会は、やり方の分からない高齢者が多いが30年後であれば、やり方も浸透し、スムーズにオンライン相談会をできる様になっている。また、A-1での相談会も行える様になっている。店舗を構えず、オンラインで相談会を行える様になっている。



まんぶく

現在は、痛みを緩和させる為のリハビリが多いが、30年後は働く高齢者が増加する為、働く人向けのリハビリが主流になる。また、小学校や幼稚園と連携して、小児向けのリハビリ等もしている。

【岡橋支店長】
働く人(従業員)の幸せを考えた会社にする。



保険部

保険部以外の社員は、保険に入る際に保険料が安いと思っているネットに入っている事が多いが、実際は、店舗でも値段はあまり変わらない、比較ができるので、店舗の方が良い。S.S.店舗で社員向けに保険相談会をしてみても、どうか？

死亡保険は、自社で入れないが、自動車・火災保険であれば、社内に入った方が良い。保険料約10%は、自社に入る為、社内ですら相談会を行いたい。



議題3

新しいプロジェクトやアイデア

地域密着型の農業や畜産を行い野菜や卵の販売や社員やお客様への還元を行う。また、宗像牛や小倉牛等のブランド牛があるので、ワシダ牛を作る。今後、S.S.は、減少するので農業を行う。しかし農業は採算を取るのが難しい為、福利厚生などで行うのであれば、良いかもしれない。いちご農業を買収し、いちご狩りを福利厚生の一環にする。

建屋を作るときに保険の窓口ブースも作り、相談会を可能にする。カーライフセンターに一人派遣し、常駐するなどしたいが、損保では、採算が取れないので、厳しい。

エネルギー部

30年後のガソリンスタンドは、リモート操作かつ、セルフ(無人化)スタンドに転換する。例えば、保険部で相談会を行いながら、給油許可ボタンを押す事が可能になり、在宅ワークとして、給油許可ボタンを押すことも可能になる。EV車が増え、ガソリンスタンドの数がかなり減少する。法人部営業は、A-1が最適な提案を行い営業マンはなくなる。

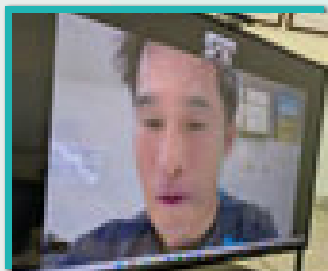
議題2

次世代のキャリアやスキルについて

また、会社どんなサポートをしてほしいか

まんぶく

リハビリや呼吸器系など分野が分かれている為、学んでいく、また、福祉用具やケアマネージャーの資格を取得する。



Keeperやメンテなど専門性持たせたS.S.にしたいが、継続的に整備をしないと経験値が溜まらないので、人が育ちにくい。今後は厳しくなると予測される為、新卒を入れたい。



新しい採用のアイデア

ワシダに入社するメリットを打ち出せば、良いが、容易ではない。20代は、給与だけでなく、働き方ではないかと思う。

【案】

① 北九州市・福岡市・千葉それぞれ、物価が違う為、家賃補助や住宅手当などは、土地に合わせて、決めてほしい。また、住宅手当8000円は安く、借り上げ社宅などの家賃補助を出してほしい。

② ジムや映画の優待などの独自の福利厚生を作ったら、採用に結び付くのではないかと。

③ 子供手当(家族手当)があるが、扶養手当が無い為、導入を検討してほしい。

【案】

④ 景観条例があるが、本社の壁を広告にしたかどうか。

⑤ バスのラッピングなど、大々的に広告を出し、目についたら調べると思う。
社有車にラッピングしてワシダをアピールする。磁石は剥がされる可能性があるので、ラッピングが良い。

⑥ 家族が従業員を支えているので、勤続年数に応じて、家族への還元として家族旅行手当を支給する。

⑦ 誕生日有休などの規則があれば、採用の際に福利厚生で掲載されていると若者は目を引く。家族中心の働き方をしたい方が多いので、リフレッシュ休暇制度やフレックスタイム制などの導入をする。



現在、社内での紹介などのやり取りが無い為、幹部が横のつながりを持つのが必要だと思う。

一般社員に言って行動させるのは、店舗移動などがあり、厳しいので、一般社員が横の

座談会 まとめ

つながりを持つ方法として、若手会を設立し、半年に一回でも食事会や若手のみの旅行・キャンプなどすれば、交流を持てる様になる。

参加メンバーは、今回のメンバーとそれぞれ1名ずつ連れてくる(20代・30代のみ)旅行や食事会。若手会発足の起案書上げる。



・新卒採用の為、福利厚生の充実と若手に手厚い保障を行う。

・ワシダは、多角化を行っているが、相互やり取りが薄いため、他部署の事を理解できていない。

まずは、保険部から、SSに派遣し、SSの仕事を理解する為に仕事体験・店舗で自動車保険の相談金を行うまたは、カーライフセンターにて、自動車保険の相談会を行う。

・若手会の設立。



編集後記

各所から選ばれたメンバーによって、120周年記念事業準備委員会を結成し、幾度となくオンライン会議を重ね、計画を練り、様々な事業を行いました。

そのような120周年記念事業の1つとして、120周年記念誌(社史)の作成に取り掛かりました。

前回の110周年記念誌作成の際に、ワシダ創業から現在に至るまでデータが整理されており、110年に10年分を追加する作業から始まりました。

ワシダの長い歴史に比べれば10年くらいと考えていましたが、ワシダ第二創業期として10年間で様々な事業を展開しており簡単ではありませんでした。エネルギー部では、中古車レンタカー事業、リペア(小傷補修)事業、カーコンビニ倶楽部加入、北九州市と木更津市で整備工場の開設、保険部は2店舗増加、2017年には訪問看護事業に参入し、

ワシダナーシング株式会社を設立、福岡市にまんぶく訪問看護リハビリステーション[®]を開設しています。

そして、鷲田商会株式会社が有限会社オカハシとワシダ興産株式会社を吸収合併し、ワシダホールディングス株式会社が設立されました。ワシダグループが10年間で行った事業やイベントの整理を行い、写真や情報を収集することで、他部門が行ってきたワシダ多角化の足取りが全社で共有できたでしょう。

また、ワシダ創業から現在に至るまでの歴史を様々な方にお伝えしやすくするために、漫画に落とし込みました。ワシダの歴史や社風、創業からの想いや先人の苦労を凝縮し、視覚的に分かりやすくできたのではないのでしょうか。

今回の周年誌掲載とは別に、漫画だけの短編冊子として関係各所へ

配布を予定しており、ワシダを知らない方にもワシダを知って頂くチャンスだと考えています。

また120周年記念誌以外にも、記念事業の1つとして、ワシダ公式キャラクター「ウイズ」が誕生しています。親しみやすいキャラクターで広報活動を行い、ワシダを知って頂く機会を増やす事でワシダの周知を図り、様々なお客様に周知を行っていきます。

「ワシダの歴史」は、まだまだ続きます。次回の記念誌発行までに、新たな発見、夢、ドラマ[®]が加わることを期待し、今回の記念誌作成の活動に一区切りをつけます。今回のプロジェクトに携わってくださった外部関係各位、そして120周年記念事業準備委員会メンバーの皆さん、ご協力ありがとうございました。

120周年記念事業準備委員会 委員長
網川 真次

株式会社ワシダ 120周年記念誌

◆ 2025年 7月 発行 ◆

◆ 発行 ◆

株式会社ワシダ 120周年記念事業準備委員会
福岡県北九州市八幡東区枝光本町3-1